



2022年 8月

第326号

The Service Club of The YMCA

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命
副会長 茂木 稔
書記 久保田 貞視
会計 長谷川 あや子
直前会長 山本 英次
担当主事 菅野 牧夫
ブリテン 山本 英次 茂木 稔
大久保 重子

国際会長 Samuel Chacko (india)
主題「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
スローガン「自己を越えて、変化を起こそう」
アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen 主題「新しい時代とともに エlegantに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」
東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
あずさ部部长 後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」
八王子ワイズ会長 花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

8月 例会プログラム

(直前会長感謝会)

日時: 8月13日(土曜日) 17:00~19:00

▼ 会場: 食堂「安兵衛」

▼ ●所在地: 八王子市子安町 4-9-8 TEL042-643-7612

JR 八王子駅南口 徒歩1分

(南口前 交差点角のファミリーマート隣)

▼担当班: C班—山本、大久保、茂木、並木 (信)

▼ 会費: メン2000円 メネット、ゲスト3000円

(中大 ひつじぐも ご招待)

▼ プログラム

○ 開会

○ 直前会長への慰労感謝の言葉

会長 花輪 宗命

○ 会食・歓談 (一人一言スピーチ)

○ 閉会

8月のお誕生日

並木美奈子さん 8月23日

巻頭言

感謝と報恩奉仕

会長 花輪 宗命

先ほど山本直前会長から
会長バッジを頂きまして、
いよいよ会長に就任した
な、という緊張した思いで
おります。このキックオフ
例会ですが、正直申しまし



先月の例会ポイント (7月)

在籍	12名	切手 (長谷川・津田)	609g
		海外 31g	計 639.3
メン	12名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	100%	スマイル	11,600円
メネット	2名	累計	11,600円
ゲスト	1名	オークション	0円
ビジター	0名	累計	0円
ひつじぐも	0名		

今月の聖句(2022年8月)

「あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持って、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残して、迷い出た一匹を探しにいかないだろうか。よく言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、これらの小さな者が一人でも失われることは、天におられるあなたがたの父の御心ではない。」

(新約聖書/マタイによる福音書 18:12~14)

て、私は、この八王子クラブに入会させていただいてからまだ5年しか経っていないので、今もってよち歩きの状態で、この場に臨んでいます。

しかし、神様が、このキックオフ例会に、佐藤信也さんという、かつての私どもの仲間であり、なおかつ、全国あるいは場合によっては世界にも誇れるような新メンバーに入会していただくという最大のプレゼントを用意してくれました。そのことから、私は、神様に守っていただいているんだなっていうことを、ひしと感じております。

前回会長に就任した時は、前任の並木会長が、新型コロナウイルスの感染が始まって大変な時期でしたが、冷静沈着にその大役を果たされ、また、私の後任の山本会長



も、収まるかと思ったらコロナがなかなか収まらないなか、zoomを活用したり、他のクラブよりも積極的に対面の例会も開くという形で、怯むことなく前進する姿を見せていただきました。

また、昨年度は私どものマドンナ長谷川さんがあずさ部部長として大活躍をされ、それにはもちろん長谷川部長のお力でもあるんですけども、八王子クラブの皆さんが一丸となって応援し、歴史に残る大変素晴らしい実績を挙げられたのだと思います。

そういう中で、もう1回会長にというお話があった時には、私には、正直言って自信はありませんでした。けれども、ワイズマンの仲間に参加させていただいたことは、珠玉のような仲間を助けてもらいながら、これまでの恵まれた人生を与えてくださった神様に感謝し、その恩に報いる機会を与えてくださったことだと気づき、ワイズマンとしての活動を通じて奉仕するのは当然の務めだと思い直し、お引き受けすることにしました。

キリスト教の教えやYMCAのことをよく知らなかった私は、前回会長に就任したのを機会に、2018年に改訂された新共同訳の聖書を購入し、折に触れて、ブリティッシュ等で紹介されている聖句を中心に、旧約聖書から新約聖書まで色々な箇所を読みました。

その過程で、旧約聖書の中にある「コヘレトの言葉」に巡り合いました。非常に短い部分なんですけど、その中身が、凄まじいと言いますか、胸に迫る記述があります。

繰り返して厳しい目にあつたコヘレトが、神様に「どうしてこのような試練を与えるのか」と問うのですが、それに対して神様は、「私たちの命は、私たちが自分で作ったのではなく、私やここにいる皆さんも実は元は1つの命で、お互いに助け合いながら支え合いながら生きていくことが私たちの命の本質なのであって、『自分は周りの皆より偉い』という上から目線だったりとか、被害者意識とかいうものを持つことは、私たちに命を授けて下さった神様の意思に反するものなのだ。私たちが幸せになるためには、それこそその人間だけではなくて、この世に生きとし生けるもの、人間だけではなくて、動物も、植物も、そして、海とか空とか地球環境環境も、私たちはその一部であり、元が根っこが1つなんだから、お互いに助け合ってこれが幸せになることの根本なのだ」というのです。

そこでコヘレトは、最後のところで「この世の終わりが来ようと、(神様を)信じて)私は種を蒔く」というのです。神学大学の小友教授の解説によりますと、あのルターも「明日この世の終わりが来ようと、私はリンゴの木を植える」という言葉があるのだそうです。

このような厳しい話をするのは、私たちの周りでは、皆さんもご承知の通り、コロナに始まり、去年からロシアのウクライナ侵攻、そして昨日は安倍首相の暗殺事件と、これからワイズマンの会長として皆さんと一緒にちゃんとやっていけるかなっていう不安を持ちそうになるときに、それでも聖書の言葉、「これを信じて前へ進んでいけば必ずみんな幸せになれる」ということを、その言葉から感じたのです。その良い証拠が、佐藤さんがこの新年代のキックオフに八王子に戻ってきていただいたことです。これから皆さんと一緒にワイズマンの精神が実施できる、そういうことが目に見えてきて、ほんとに心からそういう風に信じています。

この世に生を受けたこと、そしてそれだけではなくて、ご縁があって皆さんの仲間、ワイズマン仲間に加えさせていただき素晴らしい交友関係、それから奉仕の精神、そういうものを間近なところで学ばさせていただくことができました。

こんなに素晴らしい人生というか、命はないんではないか、ということで前回会長職を受けた時の主題を「全てに感謝」としました。

今回はその「全てに感謝」で終わるのではなく、このような立場を与えていただいたこと、そしてその皆さんと一緒に、これからこの世の生きとし生けるものの幸せを実現するために奉仕を続けてくんだという第1歩を踏み出すことに繋がったんだなと思いましたので、感謝するだけではなく、その感謝の気持ちを表すという意味で、自分たちにできるところで奉仕をすると:それが、神様の恩恵に対する感謝の表現の方法ではないのかな:まさにワイズマンになってワイズマンとしても活動することが、このように恵まれた命というか、人生を与えられていて、しかも素晴らしい仲間に加えていただいたことに対する感謝だと思ふようになりました。

私は、後期高齢者になっていますが、ワイズマンとしてはよちよち歩きの子供です。しかし、これからも皆様のお力をいただいて、新規メンバーを獲得し、活動の輪を広げていくことを、皆さんと一緒に続けていきたい、そういう1年にしたいと思っております。どうぞ皆様には、引き続きのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

佐藤信也さん 入会式

花輪会長・長谷川直前部長・佐藤信也

入会式どうぞよろしくお願いいたします。



「スイスジュネーブに本部を置くワイズメンズクラブ国際協会に認可されている東京八王子ワイズメンズクラブに入会するにあたり、

あなたは以下のことに受け入れていただきたいと思ひます。

1つ。私たちのモットー、すなわち「強い義務感を持つ義務は全ての権利に伴う」ということの方を尊重していただきまいたいと思ひます。私たちの使命、すなわち「活発な奉仕活動を通じてリーダーシップを開発、助長、供給して、全人類のためより良き世界を築くべく尽力する」に加わること。

私たちのビジョン、すなわち「若者の成長に特に焦点を置きつつ、文化的意識を促進し、人としての価値を高める奉仕組織として全世界に広く認められる」を共有すること。もし、あなたがこれらに賛同されるなら、「はい」と言ってください。」

佐藤信也:「はい。賛同します。」

「私たちの組織の国際憲法では、すべての加入加盟クラブ、さらにその会員の6つの目的を以下のように規定してございます。

- 1つ、YMCAのための奉仕クラブとして活動する。
- 2つ、目的を共有する他の団体を支援する
- 3つ、市民的、国際的諸問題について常に一党一派に偏らない正義を追求する
- 4つ、宗教、市民、社会、経済、国際などの諸問題について会員を啓発し積極的に参加させる。
- 5つ、良い交友関係を深める。
- 6つ、国際協会の国際、地域、区、部の事業を支援する。

もしあなたがこれらの6つの目的のために積極的に貢献しようとされるなら、手を挙げて「はい」と言ってください。」

佐藤信也:「はい」

「今、このように公の場で宣誓されましたので、私はあなたが東京八王子ワイズメンズクラブの会員となられることを宣言し、私たちの世界的奉仕組織に歓迎いたします。おめでとうございます。」

「ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。」

・佐藤信也

謝辞:佐藤信也 6年前にも在籍をさせていただいておりました佐藤信也です。

あとで自己紹介させていただく予定ですが、あまり長くはお話はしません。今後私も一緒に仲間として歩んでいきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

食前感謝の祈り

並木 真さん

天の父なる神様、今日新しいキックオフ例会を持つことができましてありがとうございます。そして新しく佐藤真也さんが仲間に加わってくださりありがとうございます。これからますます新しい交流できるんじゃないかと思ひます。

今世界ではまだ戦争が続き、この間、アメリカの方でも事件がありました。また、国内では中学生の女の子を傷つけ、昨日は今までないような大きな事件がありました。

世界でもがコロナ続いていて、混沌ととしています。私たちが隣人として何ができるのか、大きな問いを神様からいただいているような気がします。私たちの目の前にある食事を頂き、どうぞ神様、あなたの手と足となるよう私たちをお使い下さい。この祈りを主イエスキリストの御名によって、見前にお捧げ致します。アーメン

入会祝い卓話

佐藤信也

今回、久保田ワイズメンより電話を頂き私の「東京YMCAでの担当と役割」についてお話をとの依頼を受けお話をさせて頂きました。

私の出身は宮城県登米市で生まれです。その後、父親の仕事の関係で川口、浦和と転々とし、現在、横浜へ在住し5人家族です。

職歴は、1985年に体育の専任講師として東京YMCA山手センターへ入職。上司は並木信一さんでした。入職し山手センターにて2年目が終わったころ、教師職という職種が東京Yの中にできました。この職種は専門学校を卒業した学生たちが職員への道が閉ざされていた時代に、専門的な分野の中で能力が発揮できる職種として新しく生まれました。社会的にも専門学校卒が正規社員に登用される風流が少しずつ広がりをみせて来た頃でしたが、YMCAとしても並木さんをはじめとする諸先輩方が、職員への道を切り開いて頂きました。そのおかげで採用試験を受けられましたが、なんと1回目は失敗。2回目にして合格をしました。職員となってすぐに異動辞令があり、武蔵野ランチへ異動。その後、在日本韓国YMCA(出向)、東陽町ウエルネスセンター、北海道YMCA(出向)、山手センターへ再配属、江東YMCA幼稚園(出向)、高尾の森わくわくビレッジ(出向)、そして本部にて賛助会、山中湖センター等を担当。並行してYMサービスも兼務しています。全国YMCAの協働として、ウエルネス推進会議会長、野外事業部長も4年間ほど担当し貴重な経験をさせて頂きました。

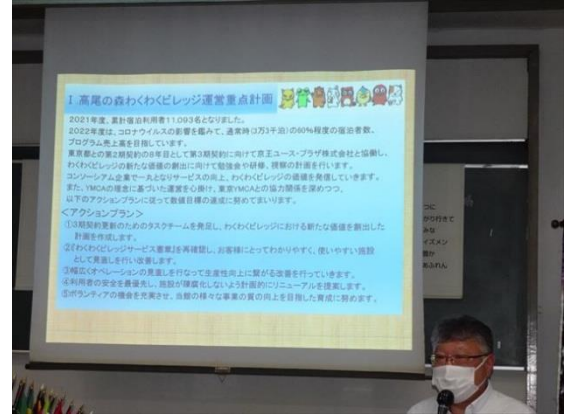


現在は、賛助会事務局長、YMサービス代表取締役の役割を担い、他団体である毎日新聞東京東京社会事業団理事、聖路加国際病院との協働プログラムぐうぐうプログラム等へも携わっています。仕事の内容をお話をする中で、YMCAの沿革から現在の規模、東京YMCAの組織などにも触れました。特に公益財団法人での「賛助会の歩みと働き」、YMサービスの「歩みと働き」を中心として具体的にお話をさせて頂きましたが、ご理解を頂けたのであれば幸いです。

今年、東京八王子ワイズワイズメンズクラブへ再入会させて頂きました。ワイズは、例会、活動と様々ですが、その中でも特に高尾の森わくわくビレッジの花壇活動

や社会貢献活動を中心としている中大ひつじくもとのユース活動へ力を注ぎたいと考えています。

ここ2ヶ年間はコロナ禍の中で国内外に於いても事業展開に困難な状況となり、今もなおその状況は治まる気配がみられませんが、皆様と共に楽しく爽やかな活動ができればと願っております。どうぞ宜しくお願い致します。



高尾の森わくわくビレッジ運営重点計画

「うぶごえが聞こえる評議会」

長谷川あや子

7月16日、あずさ部第1回評議会が東京YMCA山手センターにて開催されました。ホストクラブは東京西クラブでした。コロナ第7波の感染拡大が心配される中でしたが『ワイズへの参加と交流を楽しもう』という後藤明久部長の主題のもと、あずさ部から55名が集まりました。第一号議案:2021-2022年度会計決算報告 第二号議案:2021-2022年度会計決算監査報告 第三号議案:次々期部長クラブ推薦の件(甲府クラブ) 以上、すべて承認されました。事業主査活動方針、クラブ会長活動方針が発表され、閉会式後に写真撮影—カメラマンは荻洲サンライズクラブ会長—「ちょっと待ってね」が続いた撮影でしたが、笑いの渦で、あずさ部らしい暖かさが会場を包みました。お待ちかねの懇親会はソフトドリンクとカツサンド、お菓子をいただきながら、他クラブの方と和やかなひとときを過ごしました。

そして9月3日にチャーターを迎える「甲府やまなみクラブ」のためにあずさ部からお祝いという一大イベントがありました。山梨の新鮮な素晴らしい桃を会場で販売し、益金をお祝いというホストクラブのアイデアでした。みんなの協力でまさに『うぶごえが聞こえる評議会』でした。

YMCA 便り

館長 菅野 牧夫

コロナウイルスの爆発的な感染拡大が気になります。この先どうなっていくのでしょうか…

- ◆ 6月24日、「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」を日本基督教団霊南坂教会で開催し、約120名が来場した。飯靖子氏(オルガン)、方波見愛氏(ピアノ)、飯頭氏(ヴァイオリン)による演奏と、西山利佳氏(児童文学研究者)によるウクライナ民話絵本「てぶくろ」の朗読が好評であった。終演後に募金協力を呼びかけたところ、217,325円が寄せられた。
- ◆ 2022年3月に開始したウクライナ緊急支援募金は、7月23日現在、10,593,797円が寄せられている。ウクライナYMCA、日本YMCA同盟、ヨーロッパYMCA同盟等を通じて、ヨーロッパ近隣諸国や日本で避難生活を送るウクライナの人々を支援するための活動に用いる。東京YMCAスタッフ有志が作成したビデオメッセージを送った。今後東京YMCAの子どもたちからのメッセージ動画も送る予定。
- ◆ 7月3日～9日、「第20回世界YMCA大会」が「IGNITE(火をつける)」をテーマに、デンマークのオーフス及びオンラインで開催された。現地に約1,000人が集い、オンラインでも約1,000人が参加し、過去最大規模の大会となった(日本からは12名が現地参加、44名がオンライン参加)。大会では、コロナ後の世界やSDGsなどグローバルな課題に対してYMCAが行動を起こしていくための「VISION 2030」が採択された他、Soheila Hayek 世界YMCA新会長(レバノンYMCA)と新役員11人が選任された。また、ユースによる多数のセッションや100を超えるグループディスカッション等が行われた。同日程で開催された「YMCA世界大都市会議」と合わせて、東京YMCAからは松本数美氏が現地参加し、3名のスタッフがオンラインで部分参加をした。

中大ひつじぐも便り

委員長 関口 遼

みなさんこんにちは。暑くなってきましたね。いかがおすごでしょうか。7月は、学生たちは期末テストやレポートで忙しく、ひつじぐもも活動があまりできなかったのですが、今回は新体制になり、新しくなったワイズ系のメンバーをご紹介しますと思います。

関口 遼

文学部人文社会科学中国言語文化専攻3年の関口遼です。私は中国語や中国の文化、文学などを深く学ぶところに所属し、中国語を毎日勉強しています。

出身は埼玉県のパナマ市で大学までは約1時間半かかりです。特技は空手で、小学校1年生から続けています。皆さんと対面でお会いできるのを楽しみにしています。

立花 岳大

はじめまして。私は経済学部経済学科3年の立花岳大です。私は埼玉県の川口市というところに住んでいます。多々あります。私はひつじぐもの他に軽音系のサークルに所属していて、そこではドラムをやっています。まだまだ練習中ですが頑張っています。

色川 芽生

こんにちは、法学部国際企業関係法学科2年の色川芽生です。大学では法以外に英語にも力を入れて日々勉強しています。出身は宮城県石巻市です。大学進学とともに上京しました。特技はクラリネットの演奏で、中高6年間吹奏楽部に所属していました。

ボランティア経験はあまりありませんが、今後色々学んでいきたいと思っています。よろしくお祈りします。

折原 美結

こんにちは。総合政策学部政策科学科1年の折原美結です。私は経営学を中心に、経済、法律、政治などの幅広い分野を学んでいます。また、第2外国語としてインドネシア語も学んでいます。

出身は神奈川県です。趣味は書道で、小学生の頃から続けています。多くの方のお話を伺えることを楽しみにしています。

今月の聖句によせて

今月の聖句、「迷い出た羊」のたとえで語られるイエスの言葉に触れるとき、私は必ず40年も前のある場面を思い出します。

幼稚園では、一定期間の実習が進んだ段階で、教育実習生に自分で教育計画を立てさせ、一定時間の園児のクラス運営指導をゆだねて実際の指導体験の機会を持たせます。私が園長を兼務していた幼稚園では、この実習のときは、園長、主任教師、クラス担任のほか、時間の取れる教師はできるだけこの実習を見学し、事後の振り返りで実習生の指導について感想やアドバイスを述べ、講評をします。

40年も前の必ず思い出す場面とは、そんな実習指導における場面です。カリキュラムは紙工作でおもちゃを作ること。

その実習生(彼女)は子どもが本当に好きで、子どもからも慕われていました。しかし、ひとつのことに注意を向けていると、全体に目が行き届かなくなるようなところがあるように見られ、私は不安を覚えていました。当時、年長クラスは40人。ほとんどの子どもは工作を完成させていましたが、ひとりの子どものがなかなか完成させることができず、実習生はその一人の子どものに寄り添い、付きっきりで、指導をしていました。遅れていた子どもがやっと完成させたころには、すでに出来上がっている子どもたちは、待ちきれず、思い思いに遊び始めておりクラスは収集のつかない状態におちいっていました。

次ページへ続く

講評で、私はこのことを指摘し、全体を見渡す視野の広さを持つことの必要を注意しました。そのとき、めったに園長に反論したことがない主任教師が、涙を浮かべながら言った言葉がありました。「園長先生、お言葉を返すようですが、私はそうは思いません。彼女は、あの一人の子に、他のみんなの子どもをみていたのに違いありません。その一人を置き去りにしない、彼女の優しさをこそほめるべきだと思います。」

観点に相違はありましたが、この言葉に私は胸を衝かれ、同時に、この主任教師をこの園に与えられていることに、あふれる感謝の思いで満たされました。 並木信一

【報告】7月第2例会 2022年7月23日(土)午後6時

出席者:花輪会長、長谷川、菅野、小口、久保田、望月、

並木真、並木信、山本 9名

あずさ部第1回評議会報告 (花輪会長)

1. 東京西クラブホストにより山手センターで開催。

・部長引継ぎ: 長谷川直前部長→後藤新部長(富士五湖クラブ)
・2021/2022 会計決算報告(並木直前)会計による決算報告並びに監査報告(藤江監事)・事業主査活動方針及び会長活動報告・次次期部長クラブ 甲府クラブ

2. 2022/2023 クラブ予算:長谷川会計予算案説明、承認

3. チャリティコンサートの会場予約の件(花輪会長・久保田)北野市民センターとして、今後は、市の指示がない限りキャンセルは認めない。コロナ禍がいつ解消するか分からないので8月末待って予約する。予約の前予約申請書受領。

4. ワイズメンズクラブ 8月定例会長感謝会の予定
並木班長より、別紙説明あり。8月13日(土) 17:00~19:00
会場:JR 八王子駅南口正面 食堂「安兵衛」042-643-762
会費:メン2,000円、目ネット・ゲスト3,000円、ひつじくも招待。

5. インターナショナル・ユースコンボケーション イン チェンマイ、タイ(小口さん)
2022年9月4日から9日の4日間「第18回インターナショナルユースコンボケーション(IYC)」
タイ・チェンマイで開催される。募集人員:東日本より2~4名
参加費用:登録料400米ドル(食事・宿泊料) 参加者は別途旅費交通費を自己負担。国際協会から補助75% 400米ドル
アジア太平洋地域より補助 100米ドル。東日本区、推薦クラブの補助あり。英語力、YMCA 理解など条件付き
推薦書は8月4日までにメールで申し込む。
長谷川ユース担当より中大ひつじくもに声をかける。

6. あずさ部他クラブのイベント

①甲府やまなみワイズメンズクラブ 9月3日(土)14:00
甲府 ホテル談露館。会費8千円
参加予定者:花輪会長、長谷川、小口、久保田

②第18回富士山例会 9月24日。25日 会場:富士山五合目「佐藤小屋」・出席予定者:長谷川、久保田

③あずさ部大会及び富士五湖クラブ設立 20周年記念例会
山梨・忍野村「いちい亭」

7. タグラグビー支援(並木真さん)

現在は先生や小中学校生の親が支援しており、ワイズの

介入余地がない。様子を見てワイズの支援が必要となった段階で検討したい。主旨はYMCA 及びワイズを知ってもらうこと。

8. わくわくビレッジのボランティア支援—東京西センターの代わりに当クラブとして支援はできないか。菅野担当主事も検討したいと。中大ひつじくもとの関係をどうするか検討する。

9. ユースの SDGs 活動のその後のボランティアを zoom で報告。9月4日(日)13:00~ 3番目中大ひつじくも 小口

多摩と町田の3クラブ合同例会

小口多津子

8月2日にベルブ永山の市民集会室の調理室を借りての合同例会に出席しました。

プランター栽培講座でお馴染み多摩みなみクラブ、町田コスモスと町田スマイリングクラブの3クラブは、偶数月に合同例会を持っています。この日は卓話者がお二人という贅沢な例会でした。

お一人は、為我井さんがスリランカの学校の教師の時の生徒さんだった遠藤 Sanji さん、スリランカから来られて結婚され、今は川崎市在住。高校とケラニヤ大学で日本語を学び、2018 年に来日後、八王子市の日本語学校で勉強されたので、巧みな日本語でした。メールも勿論、日本語とのこと。美しい女性でした。この日は調理室で本場のスリランカカレーを2種類(鶏とジャガイモ)作られ、サラダとスリランカ米のごはんを一皿に盛り付けて、風習に従って、手で食する説明を聞きました。

一皿の中の2種類のカレーを人差し指と中指を第2関節でまげて、スプーン状態にして混ぜて、すくって味わうということです。皆さん1, 2回は出来ても長続きしません、大騒ぎの食事タイムでした。

遠いスリランカの国も、彼女の巧みな日本語、美しい姿、こんなにも溶け込んでいる風景に国の近さを感じました。この日のもうお一人、一緒にカレーを味わった卓話者は、NPO法人メタノイア代表理事の山田拓路さん、お話は「海外にルーツをもつ子供たちへの支援」のお話。足立区に「子どもの日本語教室」を持っておられ、主に難民の子供への教育支援活動の実態について。お話の中心もウクライナ避難民への思いや YMCA 同盟の働きとの協同。ウクライナからの方々は、難民とは呼ばず避難民であること、日本政府の複雑な難民問題への定義へのいらだち等、沢山の問題提起を感じました。支援のクラウドファンディングへの呼びかけがあつて、例会のスマイルも寄付されました。二人の若い代表のこれからの発展を祈る卓話の例会でした。